

2020 年度総会報告

6月27日(土)八王子会館において2020年度宇仁郷まちづくり協議会総会を開催しました。新型コロナの緊急事態宣言は解除されましたが、3密を避けるという方針で、来賓をお迎えせずに幹事会のメンバーと各種団体の責任者など最小限の参加で粛々と執り行われました。

今年は役員の改選年度で、稲木会長と井上副会長は留任、区長会代表の岡田広和氏と宇仁小PTA副会長の原田和広氏がそれぞれ副会長ということで承認されました。また、山本事務局長の退任にともない丸岡弘満氏を新事務局長に委嘱しました。

その他、里山ふれあいの森部会を里山・川環境整備部会と改称して運営することになりました。



朝市スタッフが鉢植えの指導を行いました

7月2日(木)健康福祉会館において、うれしの学園生涯大学で学んでいる加西支部園芸同好会の皆さんに朝顔の鉢植え講習を朝市スタッフの松岡生一さんが行いました。これは、毎年7月末から8月初旬に見事に咲いた朝顔の鉢植えを出荷されているのを見たお客さんの一人が、是非同好会のメンバーに教えて欲しいとの強い要望で実現したものです。

松岡さんは野菜や花の栽培に熱心で、仕事をリタイアしてから野菜や花作りと朝市の販売ボランティアが新しい生きがいになったともおっしゃっています。他にも、協議会の花苗ボランティア、子育て支援センターの園舎整備ボランティア、そして民生・児童協力委員としても活動しておられます。

当日は松岡さんが6月初旬に種まきした苗を持ち込み、同好会が準備した鉢・支柱・土を使って鉢植えしました。そして3本仕立てのやり方、肥料のやり方、暑い時期の水やりや日当たりなどの管理方法など資料を用いて詳しく説明され、参加者は熱心に聞き入っていました。鉢植え講習に立ち会ってみて、朝顔は種まきしてから2か月経たないと開花しないこと、つるは上から見て左巻きであることなどを知りました。

8月になるとご自身が育てられた朝顔の鉢植えが朝市に並ぶかもしれません。ご期待ください。
(朝市部会)



ふれあい交流広場よりお願い!!

ふれあい館では今まで多くの方々のご協力を得て、多岐多様な作品を展示してきました。その都度ふれあい館内の雰囲気が大きく変わり、大勢の人が来館され、楽しく、また素晴らしい空間の中で喫茶を開催してきました。昨年より月2回喫茶を開店する事にも慣れて、最近少し物足りなさを感じています。「そうだ! 展示物だ!!」皆さんの中で、ちょっと飾ってみたいな、ちょっと並べて欲しいなと思われるものがあれば、ジャンルは問いません!! どしどし遠慮なさらずお申し出ください。殺風景なふれあい館に色を付けてください。ご連絡お待ちしております。

“楽器演奏や唄も大歓迎です。”

(ふれあい交流広場)



まち活に参加して

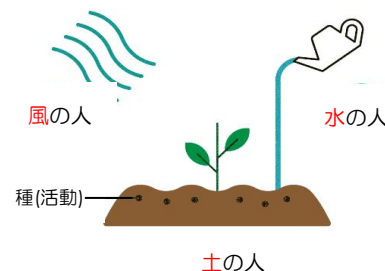
7月12日(日)アステアかさい3階ねひめホール交流プラザで開催されたまち活(加西市観光まちづくり活動フォーラム 2020)に参加しました。このまち活は、加西市内で観光まちづくりに関わる方々が、互いに刺激し合いスキルアップすることで、これからの観光まちづくり活動の活性と発展を目的として開催されています。また、未来を担う若者の活動に注目し、観光まちづくり活動の形を考えることを目的としています。



例年4月に開催されているのですが、今年は新型コロナウイルスの影響で時期を遅らせて、また、内容を変更しての開催となり、会場参加50人・オンラインミーティング参加50人を限度とした定員で行われました。

今年は8団体のパネル展示と講演のみが行われました。講演は、「風、水、土、そして種の話」という演題で、(株)都市文化創造研究所代表取締役 永田宏和さんのお話でした。話の内容を少し紹介します。

【地域の人たちが、お互い仲良く、生き生き暮らす元気なまちになることを、私たちは「地域活性化」とは言わず、「地域豊饒化」と言います。地域豊饒化には、「風の人」「水の人」「土の人」の存在が不可欠です。土の人というのは、地域に住んでいる全ての人であり、自分の身近なこと以外には無関心な人が増えている世の中、現在この土が乾ききって枯れてしまっており、種をまいてもうまく成長しません。そこで、新しい種・強い種を運び、刺激を与える存在の「風の人」が必要になってきます。「水の人」というのは、その土地に寄り添い、種に水をやり続ける存在、中間支援的存在の人です。地域には「水の人」が必ずいますが「風の人」、つまり、いい種がなくて困っています…そしてこの種は、ゼロから新しく何かを創り出すことでなく、今ある何かを創り直す、焼き直すことなのです。そのためには、これまでの事業やプログラムを、根本から考え直してみて、既成概念にとらわれず、広い視野で、違う角度から、情熱と愛情を持って、考えてみるのが大切です。】 というような難しいお話でした。



さあ、あなたは風の人になってくれますか、それとも水の人ですか、土の人にとどまりますか。夢のある元気なまちにするためには、お年寄りから子どもたちまで関心のあるイベントを開催し、話の中にでてきた「ちびっこうべ」まではいかないとしても、積極的に子どもたちにも参画してもらって、子どものクリエイティブを育ててもらふことも必要かなと思いました。

参考 URL プラス・アーツメソッド <http://plus-arts.net/corporate/method/>
ちびっこうべ <http://kiito.jp/chibikkobe/>

(参加者)

宇仁郷歴史資料館だより

Vol. 3.01

Vol.2.01～vol.2.03は歴史資料館からのお知らせでした。Vol.3.01から吉田省三記念文庫開設に至る連載が始まります。

宇仁郷歴史資料館の開設

宇仁郷歴史資料館は、播磨国風土記編纂 1300 年を記念して、平成 27 年 10 月に旧宇仁小学校の図書館を加西市より借り受けて開設しました。展示ブースには宇仁郷の動きを、古代・中世・近世・近・現代を年表にまとめて展示しています。

その後、平成 19 年 1 月にふるさと文庫を開設しました。播磨国関係の歴史・人物伝・探訪、児童学習漫画シリーズなど 275 冊を収蔵し、貸し出しも行っています。収蔵内容は、

①播磨国の歴史(70 冊)、②播磨国人物伝(20 冊)、③播磨国探訪(ハンカシリーズ 70 冊)、④日本史人物伝(歴史シリーズ 25 冊)、⑤日本の歴史、⑥世界の歴史、⑦日本の伝記、⑧世界の伝記(児童学習漫画シリーズ 各 20～30 冊)



開館日 毎日曜日9時30分～12時